

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 翻訳センター  
 コード番号 2483 URL <http://www.honyakuctr.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 郁男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼総務部長 (氏名) 中本 宏

TEL 06-6231-8544

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,916	15.4	258	49.6	256	57.3	126	35.6
23年3月期第3四半期	3,393	11.1	172	101.8	162	88.5	93	90.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 124百万円 (34.2%) 23年3月期第3四半期 92百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	7,510.72	—
23年3月期第3四半期	6,077.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	3,105		2,177			70.1
23年3月期	3,119		2,120			67.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,177百万円 23年3月期 2,120百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4,000.00	4,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	11.4	350	25.1	350	29.5	180	28.8	10,685.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	16,845 株	23年3月期	16,845 株
24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期3Q	16,845 株	23年3月期3Q	15,345 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

また、上記の前提条件その他関連する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
4. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響から生産活動の回復が進み、緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、欧州の財政危機による円高の進行や海外景気の下振れリスクへの懸念から、景気の先行きは依然として不透明な状態が続いております。このような経済環境において、当社グループの売上高は、前年同期比15.4%増の3,916百万円となり、第3四半期連結累計期間における過去最高の売上を計上いたしました。

分野別の売上の状況につきましては、特許分野は、当社グループの主要顧客である特許事務所からの受注が増加したことに加え、大手特許事務所の新規開拓が奏功したことから、売上高は前年同期比12.2%増の1,091百万円となりました。医薬分野は、メガファーマから獲得した新薬申請資料・治験関連資料などの大型案件や国内外の製薬会社を中心とした既存顧客への拡販進行に加え、国内中堅製薬会社からのスポット案件を獲得したことから、売上高は前年同期比15.7%増の1,299百万円となりました。工業分野は、自動車・部品メーカーからの受注が引き続き好調であったことや、大手電機メーカー関連企業から大型案件を獲得したことから、売上高は前年同期比24.9%増の1,041百万円となりました。金融分野は、ディスクロージャー関連資料の受注が安定的に推移したことから、売上高は前年同期比4.9%増の335百万円となりました。

利益面につきましては、増収効果に加えて販売管理費の抑制が奏功したことから、営業利益は前年同期比49.6%増の258百万円、経常利益は前年同期比57.3%増の256百万円、四半期純利益は前年同期比35.6%増の126百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は3,105百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円の減少となりました。

これは、前連結会計年度末に比べ流動資産は19百万円増加したものの、固定資産が32百万円減少したことによるものであります。

主な要因は、流動資産の増加は未払法人税等の支払いや配当金の支払いなどにより現金及び預金が72百万円減少したものの、売掛金が62百万円、仕掛品が45百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産の減少は事務所移転に伴う敷金の返還等により投資その他の資産が27百万円減少したことによるものであります。

負債は928百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円の減少となりました。

主な要因は、未払法人税等や賞与引当金が減少したため流動負債が68百万円減少したことによるものであります。

純資産は2,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円の増加となりました。

主な要因は、利益剰余金が配当により67百万円減少したものの、四半期純利益の計上により126百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年9月30日付プレスリリース「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました数値から変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,811,980	1,739,025
受取手形及び売掛金	726,925	790,624
仕掛品	52,772	98,655
その他	116,960	99,402
流動資産合計	2,708,638	2,727,708
固定資産		
有形固定資産	30,685	49,822
無形固定資産	147,632	122,980
投資その他の資産	232,904	205,442
固定資産合計	411,222	378,246
資産合計	3,119,860	3,105,954
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	416,215	446,797
未払法人税等	114,235	52,054
賞与引当金	94,709	63,753
役員賞与引当金	32,000	28,350
その他	201,055	198,772
流動負債合計	858,214	789,728
固定負債		
退職給付引当金	83,654	92,963
役員退職慰労引当金	57,300	45,900
固定負債合計	140,954	138,863
負債合計	999,169	928,592
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	1,059,746	1,118,884
株主資本合計	2,127,012	2,186,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,017	△1,070
為替換算調整勘定	△5,304	△7,717
その他の包括利益累計額合計	△6,321	△8,788
純資産合計	2,120,691	2,177,362
負債純資産合計	3,119,860	3,105,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	3,393,372	3,916,116
売上原価	1,932,912	2,215,097
売上総利益	1,460,460	1,701,019
販売費及び一般管理費	1,287,603	1,442,424
営業利益	172,856	258,594
営業外収益		
受取利息	423	380
受取配当金	165	225
受取手数料	128	576
その他	4	59
営業外収益合計	720	1,240
営業外費用		
為替差損	5,069	3,793
株式交付費	5,668	—
その他	146	—
営業外費用合計	10,884	3,793
経常利益	162,692	256,041
特別利益		
貸倒引当金戻入額	237	—
特別利益合計	237	—
特別損失		
固定資産除却損	—	538
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,537	—
特別損失合計	5,537	538
税金等調整前四半期純利益	157,393	255,502
法人税等	64,139	128,984
少数株主損益調整前四半期純利益	93,254	126,518
四半期純利益	93,254	126,518

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	93,254	126,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	980	△53
為替換算調整勘定	△1,833	△2,413
その他の包括利益合計	△853	△2,467
四半期包括利益	92,401	124,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,401	124,050
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	翻訳事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	3,293,130	3,293,130	100,242	3,393,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	19,224	19,224
計	3,293,130	3,293,130	119,467	3,412,597
セグメント利益	178,250	178,250	532	178,783

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣翻訳事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	178,250
「その他」の区分の利益	532
セグメント間取引消去	287
のれんの償却額	△6,214
四半期連結損益計算書の営業利益	172,856

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	翻訳事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	3,807,219	3,807,219	108,897	3,916,116
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,284	3,284	63,450	66,734
計	3,810,504	3,810,504	172,347	3,982,851
セグメント利益又は損失(△)	271,750	271,750	△7,561	264,188

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣翻訳事業等を含んでおります。



2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	271,750
「その他」の区分の利益	△7,561
セグメント間取引消去	620
のれんの償却額	△6,214
四半期連結損益計算書の営業利益	258,594

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。